

平成24年度 事業計画

公益財団法人 日本オリンピック委員会

公益目的事業

1. 選手強化、強化スタッフの育成及びこれらの支援

<選手強化事業>

強化合宿事業

オリンピック実施競技団体のオリンピック強化指定選手・ナショナルチーム等を対象とした国内・海外の強化合宿を実施する。

コーチ力強化事業

ナショナルコーチ、専任コーチ、メディカルスタッフ、情報科学スタッフを設置し、選手強化事業を効果的に推進するとともに、海外優秀コーチの招聘やコーチの海外派遣及びコーチ・強化スタッフ会議を開催し、情報交換と相互連携を図る。

スポーツ国際交流事業

国際競技大会に選手及び強化スタッフ等を派遣するとともに、トップレベルの外国選手・チームを招待し、競技交流を通して選手強化を図る。

将来性を有する選手の発掘及び育成事業

ナショナルトレーニングセンターを活用してトップアスリートを育成するエリートアカデミーを実施するとともに、JOCジュニアオリンピック大会の優秀者をオリンピック有望選手に認定し研修会を実施、また、各地域で実施されているタレント発掘・育成事業を支援し、有望な競技者を中央競技団体へ繋げる。

スポーツ指導者の養成・活用

指導者としての能力・資質・技能の向上を目指した各種プログラムを提供するナショナルコーチアカデミーを実施することにより、世界で通用する指導者を育成する。

調査研究事業

JOCゴールドプランに掲げる目標を達成するために、国際競技力の分析・把握、情報戦略・医学・科学支援、競技者育成プログラム支援、強化拠点ネットワーク構築等の各種プロジェクトを実施し、競技力向上に結びつける。

スポーツ情報提供事業

国際競技力向上に関わる方針、戦略、戦術、施策等を網羅したWEB及びハンドブックをスポーツ関係者に提供することにより、各競技団体の選手育成強化戦略を支援する。またロンドンオリンピック大会代表選手へのメンタル面のサポートのための過去のメダリストによる「メダリストバイブル」を作成、提供する。

アンチドーピング活動推進事業

強化指定選手及び日本代表候補選手に対して検査を実施するとともに、普及・啓発活動を実施する。

スポーツ指導者海外研修事業

海外の選手強化制度、指導者の実態等について調査・研究し将来を担う人材育成を目的に各競技の指導者等を派遣する。

組織基盤強化事業

継続的な競技力向上のためのマネジメントについて、外部の専門的な知識・経験を有する者に委嘱し、競技水準の向上のための企画・立案を遂行する。

ナショナルトレーニングセンター管理運営事業

選手強化の中核拠点としての役割を担い、強化合宿等の充実を図るための栄養管理等の支援を実施する。

強化対策事業

アスリートプログラムに基づく健康診断、体力測定等の実施や、選手強化事業を効率的に推進するための事業を企画する。

競技団体交付金事業

選手強化のための寄付金等の財源をもとに、各競技の強化を財政面から支援する。

2. オリンピック・ムーブメントの推進

<オリンピックデー記念事業>

オリンピックと参加者が交流できる「オリンピックふれあい推進事業」を年間を通じて実施する。ジョギングを中心とした「オリンピックデーラン」、中学校でオリンピズムを伝える「オリンピック教室」、家族で参加する「オリンピック親子キャンプ」、またスポーツと音楽を融合させた「オリンピックコンサート」も実施する。

<スポーツ情報の提供>

オリンピック大会、アジア大会、ユニバーシアード大会をはじめとするスポーツに関する各種情報を、ホームページ(<http://www.joc.or.jp/>)、メールマガジン、機関誌「オリンピック」、パンフレット、カレンダーといった広報ツールに加え、各種セミナー、イベント等を通じ、広く提供する。

<スポーツ環境保全活動>

IOCが取り組んでいるスポーツを通じた環境保全活動にもとづき、日本のスポーツ界における環境保全の啓発活動及び競技会を含めた各競技特性に適應する環境保全活動を推進する。また、審査登録しているISO14001を通じ事務局の環境管理システムを維持発展させる。

<事業広報活動>

オリンピックムーブメントを推進するための事業・広報活動の企画立案や、効果的な報道のあり方についての、ジャーナリストセミナー等を実施する。

3. オリンピック競技大会等国際総合競技大会への選手団派遣及び成績優秀者等の表彰、並びにこれら大会の招致、開催

<第30回オリンピック競技大会選手団派遣事業>

平成24年 7月27日 ～ 8月12日 イギリス / ロンドン

<第3回アジアビーチゲームズ選手団派遣事業>

平成24年 6月16日 ～ 6月22日 中華人民共和国 / 海陽

<JOCスポーツ賞>

平成23年度の成績優秀者を対象に、年度賞・特別貢献賞等を授与する。

<オリンピック特別賞>

第30回オリンピック競技大会において、第1位から第3位に入賞した者に対し、オリンピック特別賞を授与する。

<東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動事業>

2020年、第32回オリンピック競技大会を日本に招致するための活動を展開する。

収益事業等

事業の遂行に必要な財源調達のための知的所有権の管理及び商標提供

<国際関係事業>

国際オリンピック委員会、IF及びパートナーNOC等の国際的スポーツ統括組織の情報収集と関係強化に務めるとともに、国際社会においてリーダーシップを発揮し活躍できる人材の育成を図る。また、国際力強化に向けた組織の構築にも取り組み、将来のオリンピック招致を見据えた諸活動を展開する。

<震災復興プロジェクト事業>

東日本大震災の被災地を中心に、スポーツを通じてオリンピックやアスリートが地域の人たちと共にふれあい、一人でも多くの笑顔が生まれるよう継続した支援活動を展開する。

<マーケティング事業>

本会が保有するマーク等商標権の活用による自主財源の確保を図るためのマーケティング活動を推進する。